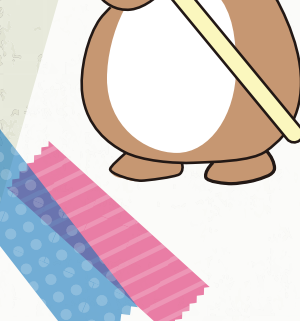


岡崎先生からのメッセージ



なぜか子どもの頃から、赤ちゃんや小さい子が好きで、高校1年生の冬までは小学校の先生になることを夢見ていました。また、幼い頃から反対咬合で、自身も反対咬合である母親が気にして幼稚園に通い出した5歳頃から近所の歯科医院に通院していました。そこではチンキャップやリンガルアーチと言われる矯正装置を5歳の頃から口腔内や夜間就寝時に装着していました。しかしほとんど改善が見られず、永久歯列の放出完了まで外科矯正の確率が高いまま、経過観察するしかないと言われたようです。

その後、中学卒業頃から外科矯正のための成人矯正を再開し、16歳の12月に京都の病院で顎変形症の手術を受けました。当時の私は咬合の改善よりも、見た目、審美的な改善がとても嬉しく、頑張ってよかったと心から思ったのを覚えています。またその際、当時研修医でおられた先生がとても私を可愛がってくださり、私もあんなにかっこいい女医さんになりたい！口腔外科医になりたい！という思いから、何の縁もゆかりもなかった歯科医師になることを決めました。

北海道大学歯学部に入塾してから卒業までずっと、私は口腔外科に残って、顎変形症の手術をする歯科医師になりたい！そう思い、またその思い通り、大学卒業後は地元兵庫県にある大学病院の口腔外科に入局しました。その病院では顎変形症の手術はもちろん、口腔癌の手術等も間近で手術助手として多く参加することができ、また、3年目には同大学の麻酔科研修も行き、歯科に限らず耳鼻科、整形外科、形成外科、小児外科、脳神経外科の手術の麻酔も経験したことで全身管理を学ぶ大切さを感じました。

またちょうどその頃、一時は安定していた自分のかみ合わせが少しずつ変わってきていることに気づきました。矯正歯科の先生に相談すると、手術と矯正の後戻りだと言われ、解決のためには再度矯正と顎変形症の手術が必要だと診断されました。自分は歯科医師であるのだから必要があるのであれば、2回目であったとしても矯正と手術をしよう。そう思い、2回目の矯正治療を24歳から開始しました。

その24歳の冬に、私の地元の兵庫県丹波市にあるわく歯科医院の和久雅彦院長に再会しました。大学5年の終わりに、一度見学に伺わせていただいたことがきっかけで、久しぶりに医院を尋ね、そこで和久先生が『先生！MRC治療って知ってるか??』と私に聞いてこられたことを今でも覚えています。これが私のMRC治療との出会いです。

『全ての不正歯列は口呼吸と間違った軟組織の使い方が原因である。』そう学んで私は自分の幼少期の写真がどれもポカンと口を開けていることを思い出し、愕然としました。そんなこと誰も教えてくれなかった、、、これまでの私の治療にかけてきた時間や痛みは無駄だったのではないかと悔しい気持ちもありましたが、それ以上に私のこれまで目標にしてきた口腔外科医として活躍することより、私みたいに矯正や顎変形症の手術を、しかも2回も受けるまでなく、小児期に不正咬合の原因にアプローチをし、咬合を改善することこそ本当に価値のある歯科治療じゃないかと考えたのです。

この先生と一緒に、このMRC治療を学ぼう！！そう心に決め、2回目の顎変形症の手術の2週間後、前職であるわく歯科医院に入職しました。

院長や医院のスタッフと一緒に学べば学ぶほど、MRC矯正は本当に価値のある治療である、この治療以上に子どもに行う歯科治療で価値のある治療はないと感じるほど、この治療にのめり込みました。この治療の第一人者である静岡の先生のもとへ見学に行き、その先生に私のこれまでの経験をお話したところ、『君以上にこの治療の価値を感じている歯科医師はいないよ。つまり君が最高のMRC治療のドクターになれるということだ』そう言っていたいき、私がいろいろな経験をしたのちに、この治療に出会ったこと全てが運命で、子どもたちを口の健康を通して心身ともに幸せにすることが、私の使命であると強く感じました。

そして導かれるようにこの治療の発祥の地であるオーストラリアに向かいました。この治療に携わる先生方に直接お会いしたいとの思いから2023年4月から半年、オーストラリアのメルボルンを拠点に留学し、多くのことを学んで参りました。現地では口腔周囲の機能の他にも、舌小帯、オステオパシー等歯科医師でありながら歯以外の全身を診ることや他職種と連携し一人の子どもの治療に携わることの大切さを感じました。



Myobrace 治療で有名な Dr.Flutter と撮影

世界各国で呼吸の観点から MRC 治療の講演が行われている。
現在は Orthodontic 早期治療センターをイギリスで開業。

また7月にはこの留学期間の最大の目的である Myobrace 治療の開発者 Dr.Farrel のオフィスを訪ねるためにゴールドコーストへ行ってきました。最初オフィスに到着した際は、ずっと来ることが夢だった場所にやっと来られたことが嬉しく、これまで関わってきてくれた多くの仲間や、多くの患者様に感謝の気持ちでいっぱいになりました。また現地でもオーストラリア、ニュージーランド、インド、香港、マレーシアの先生方と親しくなることができ、多くの情報共有できる仲間を世界中に作ることもできたことが大きな財産になったと思っています。Myobrace 治療は現在もオーストラリア以外でもヨーロッパやアメリカで多くの子どもたちが治療を受けています。また、世界中の先生方がこの Myobrace 治療を学び自分の国の子どもたちの健康に貢献しようとされています。実際にオーストラリアへ行ったことで、現在自分が行っている治療の価値を世界基準で感じる事ができ、日本のより多くの子どもたちにこの Myobrace を用いて健康にしたいと思っています。

私の想像以上に、私の予想の範疇を超えて子どもたちが良くなってきてくれることが、この治療の素晴らしいところだと感じています。咬合はもちろん、好き嫌いなくよく食べるようになった、顔つきが変わってきた等、歯並び以外の点でも子ども達のご両親から嬉しい言葉を頂ける瞬間が、この治療をやっていて本当に良かったと思える瞬間です。大切な成長期にこそ、咬合の改善や歯列の改善、口腔周囲の機能の改善がいかに大切か、もっと多くの方々に知っていただきたい。小児医療も日々進歩しています。私の大好きな Myobrace 治療を、小児科とコラボレーションした医院で行うことができれば、より多くの子どもたちの健康のお手伝いができるのではないかと。そう思い、この北千里こどもの森クリニックに勤務させていただいております。これから Myobrace 治療に関して最新の情報を世界中からアップデートし続け、この北千里こどもの森クリニックに来院してくださるお子様の健康に貢献して行きたいと思っています。

